

令和4年度在宅療養あんしん病院登録システム利用状況調査結果（概要）

【目的】

在宅療養あんしん病院登録システムの登録者の入院等の利用状況、院内での周知状況等を把握し、今後の本システムの改善を行い本システムの満足度向上を図るとともに、今後の利用拡大に結びつける。

【調査方法】

- (1) 方式：アンケート方式
- (2) 対象：在宅療養あんしん病院 134病院
- (3) 評価期間：令和4年10月1日～11月30日

【利用状況調査結果】 ※有効回答数N=134病院

- (1) 利用実績等について（登録者数はR4.12.31時点）

入院利用実績のある病院数	登録者数 (47病院)	利用者数 (入院した人)	利用者の 平均年齢	利用者の 平均入院日数 (入院中を除く)	在宅関係者への 退院調整連絡
47病院	10,819人	364人 (うち、かかりつけ医によるあんしん病院依頼は65人)	85.3歳	15.9日 (癌・心不全等を含む)	有61.8% 無38.2%

※（参考）全登録者数 13,970人

- ・利用実績を調べるにあたり、本システムを利用した入院かどうかの判断が困難であることから、登録者が入院した事例全てをカウントしている。

(2) 病院における地域連携担当者の取り組み状況

患者からの本システムに登録したいとの相談	有 53.0% 無 47.0%
登録者優先の入院調整	有 62.9% 無 37.1%

システム未登録者への紹介	有 27.6% 無 72.4%	
	無の場合の理由 ① 患者登録の手続きが煩雑 9.3% ② 診療報酬上の位置づけや補助がない 11.3% ③ 対象者像が不明確 10.3% ④ 入院対象となる状態の患者が少ない 19.6% ⑤ 既に多職種の連携体制が構築できている 17.5% ⑥ 患者の病院への依存度が高くなる 2.1% ⑦ 患者がシステム登録や活用を拒否 1.0% ⑧その他(*) 28.9%	
院内の周知状況	医師	よく周知されている 5.2% まあまあ周知されている 44.8% あまり周知されていない 41.8% 全く周知されていない 4.5% わからない 3.7%
	病棟師長	よく周知されている 7.5% まあまあ周知されている 48.5% あまり周知されていない 36.6% 全く周知されていない 3.7% わからない 3.7%
	医事部	よく周知されている 17.3% まあまあ周知されている 52.6% あまり周知されていない 25.6% 全く周知されていない 2.3% わからない 2.3%
うまく活用できた事例	有 4.5% 無 95.5%	
利用者からの苦情	有 0.7% 無 99.3%	

(*) 患者退院時のシステム紹介を行わない理由が「その他」の場合の主な内容

- ・死亡退院の方が多く、本人に説明ができないため。(3件)
- ・高い確率で登録患者様の入院受け入れができないため、紹介を行っていない。(2件)

(3) 本システムに関する評価(自由意見)

- 本システムを利用して良かった点、退院時の連携が進んだ点
 - ・登録をしてもらうことで患者、患者家族に「安心」してもらうことができた。
 - ・かかりつけ医、ケアマネジャー等の関係機関による情報が無いとき、各所の連絡先がすぐにわかる。
 - ・本システムを活用されている一部の医院との連携が強化された。
 - ・在宅側と連携を取り、入退院ともにスムーズに行うことができる点。
- 本システムの改善要望点
 - ・確実に入院できる、あるいは優先的に入院できるようになるものだと勘違いされる患者が多く、その点についての説明をわかりやすくしていただきたい。救急指定のある病院では重症患者を優先的に受け入れるため、あんしん病院登録での優先は難しい。
 - ・診療報酬上の評価を行って頂きたい。
 - ・全く受診歴の無い患者に登録していただいても、普段の状態等の把握が出来ない。
 - ・高齢者登録一覧を出力できるような仕様を検討頂きたい。

- この数年、コロナ禍において待合室の書架などへの設置が感染防止の観点からできない期間があった。他の方法で積極的なPRができれば良いのではないかと思う。

以上